

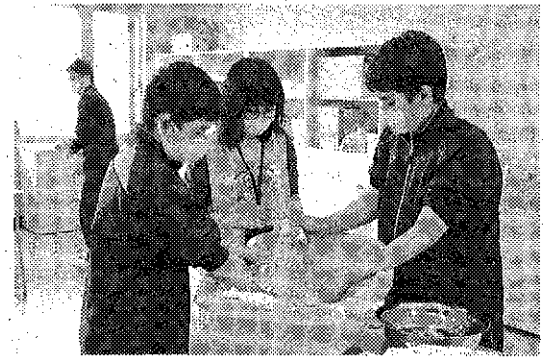
沐浴「大変」 生徒ら体験

白糠高

【白糠】白糠高校（田村信明校長）の2年生26人が「家庭総合」の授業で沐浴体験を行った。生徒は子供を産み育てることの意義や保育の重要性を学ぶとともに、実践を通して沐浴の手順や着替えの方法などを身に付けた。

町介護健康課の保健師2人と助産師の本郷恵さんを講師に6月30日に実施した。新型コロナウイルス感染症や思春期などの講話と人形を使った沐浴体験を交互に行った。生徒はお湯の温度や洗い方、体の拭き方などの指導を受けながら真剣に取り組んでいた。

本郷さんは「思っていた以上に集中して聞いてくれた」。男子生徒の一人は「想像していたよりも難しく、子供を育てるのは大変なんだなと改めて感じた。もし自分が結婚して子供ができたら夫婦で協力していききたい」と話していた。



沐浴の要領を教わる生徒（白糠町役場提供）